



## 2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社unerry 上場取引所 東  
コード番号 5034 URL <https://www.unerry.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 英俊  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO コーポレート部長 (氏名) 斎藤 泰志 (TEL) 03-6823-8234  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第1四半期の業績 (2025年7月1日～2025年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年6月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,008	26.8	△3	—	△1	—	△4	—
2025年6月期第1四半期	795	62.3	46	—	47	—	27	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年6月期第1四半期	円 銭 △1.26	円 銭 —
2025年6月期第1四半期	7.34	7.04

(注) 2026年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年6月期第1四半期	百万円 2,570	百万円 2,012	% 78.2
2025年6月期	2,616	2,016	77.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,010百万円 2025年6月期 2,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	0.00	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 5,002	% 34.3	百万円 500	% 60.4	百万円 502	% 59.6	百万円 400	% 20.5	円 銭 107.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年6月期1Q	3,773,690株	2025年6月期	3,768,890株
2026年6月期1Q	35,189株	2025年6月期	35,049株
2026年6月期1Q	3,738,501株	2025年6月期1Q	3,707,807株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等による効果が景気の緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策による影響、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社は、ミッションである「心地よい未来を、データとつくる。」の実現に向け、リアル行動ビッグデータの収集体制の拡充や解析精度の向上、サービス開発の推進など、リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank®」の基盤及び利活用の強化に注力してまいりました。

具体的には、株式会社NTTドコモと協業し、両社の位置情報データの連携強化およびドコモの多様なデータアセットを掛け合わせることで、自治体や企業の抱える社会課題の解決およびマーケティングを支援する取り組みの検討を開始します。

さらに、ビッグデータや人流データの最前線を共有するイベントとして「SPECTACLES～The Data Masters～」を開催し、業界の知見発信を強化しました。

また、新サービスとして、実際の行動ログに基づいたアンケート調査を可能にする「Beacon Bankアンケート」の提供を開始し、データ活用の幅を広げています。

さらに、「『次世代通信技術』と『データ』でつくる心地よい街」をテーマに掲げる東京都の「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業（Tokyo NEXT 5G Boosters Project）」において、令和7年度の開発プロモーターに採択され、都民のQoL（Quality of Life）向上と優れた技術を持つスタートアップの成長支援に取り組んでいます。

加えて、東京都の「Be Smart Tokyo」プロジェクトでは株式会社バカンと連携し、第40回調布花火大会において会場周辺32店舗の混雑可視化やサイネージ連携、効果分析を行うなど、地域イベントを通じたデータ実装・認知促進施策も展開しています。

以上の取り組みの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,008,986千円（前年同四半期比26.8%増）、営業損失3,618千円（前年同四半期は営業利益46,964千円）、経常損失1,740千円（前年同四半期は経常利益47,920千円）、四半期純損失4,692千円（前年同四半期は四半期純利益27,216千円）、リカーリング顧客売上高934,263千円、リカーリング顧客売上高比率92.6%、リカーリング顧客数161社、リカーリング顧客平均売上高5,802千円、NRR110.7%となりました。

なお、当社はBeacon Bank事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて45,834千円減少し、2,570,405千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少62,792千円、売掛金及び契約資産の減少19,800千円、流動資産の貸倒引当金の増加3,931千円、投資その他の資産の減少3,626千円、無形固定資産の増加27,258千円、棚卸資産の増加20,187千円、によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて41,579千円減少し、557,774千円となりました。これは、未払法人税等の減少79,251千円、買掛金の増加34,474千円、流動負債のその他の増加3,197千円、によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて4,255千円減少し、2,012,631千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少4,692千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	631, 518	568, 726
売掛金及び契約資産	499, 286	479, 485
有価証券	1, 200, 000	1, 200, 000
棚卸資産	23, 364	43, 552
その他	45, 319	43, 411
貸倒引当金	△7, 950	△11, 881
<b>流動資産合計</b>	<b>2, 391, 539</b>	<b>2, 323, 293</b>
<b>固定資産</b>		
無形固定資産	9, 082	36, 340
<b>投資その他の資産</b>		
投資その他の資産	259, 061	255, 434
貸倒引当金	△43, 443	△44, 664
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>215, 618</b>	<b>210, 770</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>224, 701</b>	<b>247, 111</b>
<b>資産合計</b>	<b>2, 616, 240</b>	<b>2, 570, 405</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	339, 562	374, 037
未払法人税等	79, 824	572
その他	179, 966	183, 164
<b>流動負債合計</b>	<b>599, 353</b>	<b>557, 774</b>
<b>負債合計</b>	<b>599, 353</b>	<b>557, 774</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	41, 670	41, 888
資本剰余金	1, 422, 336	1, 422, 555
利益剰余金	553, 014	548, 322
自己株式	△2, 094	△2, 094
<b>株主資本合計</b>	<b>2, 014, 926</b>	<b>2, 010, 671</b>
新株予約権	1, 959	1, 959
<b>純資産合計</b>	<b>2, 016, 886</b>	<b>2, 012, 631</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2, 616, 240</b>	<b>2, 570, 405</b>

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	795,555	1,008,986
売上原価	518,185	651,595
売上総利益	277,369	357,390
販売費及び一般管理費	230,404	361,008
営業利益又は営業損失(△)	46,964	△3,618
営業外収益		
受取利息	163	459
受取配当金	—	1,898
為替差益	—	109
ポイント還元収入	1,210	259
その他	—	0
営業外収益合計	1,374	2,727
営業外費用		
為替差損	418	—
株式報酬費用消滅損	—	771
その他	—	78
営業外費用合計	418	850
経常利益又は経常損失(△)	47,920	△1,740
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	47,920	△1,740
法人税、住民税及び事業税	19,058	1,583
法人税等調整額	1,645	1,367
法人税等合計	20,703	2,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,216	△4,692

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社はBeacon Bank事業の单一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2千円	478千円